

DTM 体験版

楽譜が読めなくても OK！デスクトップミュージックに触れてみよう！

開催日：2024年10月5日

@アクトシティ浜松研修交流センター、北部協働センター

スマホやタブレットを使って曲を作るワークショップを開催しました。アプリ BandLab（バンドラボ）にあらかじめ録音されている音源を使って、曲を作るワークショップです。当日の様子をお伝えします！

ワークショップは、参加者の皆さんの自己紹介からスタート。お互いに好きな音楽やこのワークショップで目指したいことなどを共有し、和やかな雰囲気が始まりました。

講師のりり先生は、シアーミュージックでギター指導経験を経た後に、個人レッスンとして作曲、DJ、ギターの指導を行っています。

最初にりり先生から、「音楽は、①メロディー、②コード、③ベース、④リズムの4要素からできている」という説明がありました。「メロディーは曲の主演」、「ベースは曲の輪郭をつくる」などと、楽器経験がない方でもイメージしやすく伝えてくれました。



BandLab の使い方は、実際に手を動かしながら学びます。BandLab にはあらかじめ録音された音が入っており、その中からいくつかの音を組み合わせることで曲を作っていました。

BandLab にはたくさんのジャンルの音が入っているため、選ぶ楽しさがある反面、どんな雰囲気の曲にするか迷ってしまう参加者も・・・。

りり先生からは、「まずはとにかく様々なジャンルの音を聞いてみて、自分の好きなジャンルを見つけること」と、「どうしても迷ったら、ディスコが曲として形にしやすい」とのアドバイスがありました。

最初は誰もが迷うものだそうで、数をこなすうちに曲作りのスピードも速くなっていくそうです。何事も積み重ねが大切ですね。



曲を作るには音を選ぶ順番があり、リズム→ベース→コード→メロディの順番で音を選んでいきました。

参加者の皆さんは、どんな音の重なりにするか、試行錯誤しながら曲を作っていました。

ワークショップの終盤では、参加者の皆さんが作り上げた作品を発表しました。りり先生からコメントをいただき、参加者同士でも、それぞれの作品の良かった点を伝え合いました。

2時間という短い時間の中でも、かっこいい作品、かわいらしい作品、映画の音楽になりそうな作品…などとそれぞれの個性が作品に表れていて、りり先生も感心していました。



皆さんが今回のワークショップで学んだことを活かして、曲作りを継続したり、新しいことに挑戦したりすることを期待しています！

りり先生、参加者の皆さん、ありがとうございました！